



平成 25 年 1 月 25 日

各 位

東京都中央区日本橋 1 丁目 20 番 3 号
藍澤証券株式会社
代表取締役社長 藍澤 基彌
(コード番号: 8708)
問合せ先 取締役 藍澤 卓弥
TEL 03-3272-3421
E-mail: ir@aizawa.co.jp

平成 25 年 3 月期第 3 四半期連結業績見通しと 平成 24 年 3 月期第 3 四半期連結業績との差異に関するお知らせ

平成 25 年 3 月期第 3 四半期（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日）（以下、当四半期）において、当四半期の業績と平成 24 年 3 月期第 3 四半期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日）の業績に差異が生じたのでお知らせいたします。

なお、平成 25 年 3 月期第 3 四半期の業績につきましては、1 月 29 日に開示の予定です。

記

1. 平成 25 年 3 月期第 3 四半期の業績見通し

(単位: 百万円)

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 |
|------------------------------|-------|--------|-------|--------|
| 平成 25 年 3 月期 第 3 四半期(見通し) | 6,783 | 105 | 186 | 400 |
| 平成 24 年 3 月期 第 3 四半期(実績値) | 6,031 | △1,301 | △931 | △766 |
| 増減額 | 752 | 1,407 | 1,117 | 1,166 |
| 増減率 | 12.5% | — | — | — |

- (注) 1. 金融商品取引業の業績は、経済情勢や市場環境の変動による影響を大きく受ける状況にあり、通常の業績を適正に予想し、開示することは極めて困難であります。そのような状況において業績予想を開示することは投資家等に誤認を与える恐れがあるため、当社は通常の業績予想を開示しておりません。それに代えて、四半期および通期の業績見通しを、決算数値が確定したと考えられる時点で速やかに開示いたします。
2. 上記の業績見通しにつきましては、現時点で当社が合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は当該数値と異なる可能性があります。

2. 連結業績見通しの説明

平成 25 年 3 月期第 3 四半期の主な収益・費用の見込みは以下のとおりです。

(受入手数料)

国内株式売買代金の増加により委託手数料は回復基調にありますが、投資信託の販売を中心とした募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料の減少により、受入手数料は 37 億 29 百万円(前年同期比 86.5%)となる見込みです。

(トレーディング損益)

外国債券および外国株式の取扱いの増加により、トレーディング損益は27億46百万円(同216.0%)となる見込みです。

(金融収支)

金融収益は信用取引貸付金の減少等により2億89百万円(同85.8%)、金融費用は信用取引借入金の減少等により72百万円(同75.5%)となる見込みです。これにより、金融収支は2億17百万円(同89.9%)となる見込みです。

(販売費・一般管理費)

前連結会計年度における固定資産の減損損失の計上に伴う減価償却費の減少等により、販売費・一般管理費は66億5百万円(同91.3%)となる見込みです。

(営業外損益)

受取配当金2億8百万円等による営業外収益2億80百万円、投資事業組合運用損1億80百万円等による営業外費用2億円により、営業外損益は80百万円の利益となる見込みです。

(特別損益)

投資有価証券売却益2億33百万円、投資有価証券のデリバティブ取引の決済に伴うデリバティブ決済益2億15百万円等により、特別利益は4億64百万円となる見込みです。株価が著しく下落したことによる投資有価証券評価損2億27百万円等により、特別損失は2億33百万円となる見込みです。この結果、特別損益は2億31百万円の利益となる見込みです。

特別損失の詳細につきましては、1月4日開示の「平成25年3月期第3四半期連結会計期間における投資有価証券評価損(特別損失)の戻入に関するお知らせ」をご覧ください。

以 上